



京都 # cafe

日毎に寒さが募り、温かい飲み物が欲しい季節となってきました。京都ではお茶は、古くから親しまれてきましたが、コーヒーも家庭内や喫茶店などで多く飲まれています。

そんな京都の「1世帯当たりの家庭内でのコーヒーの消費（二人以上の世帯）」「外食における喫茶代に係る家計支出」「人口・世帯当たりの喫茶店数の割合」の3点を見ていきましょう。

家計調査によると（2017年～2019年平均）で、京都市では一世帯当たり（二人以上の世帯）でコーヒーに1年間で支出した金額は8555円、購入した数量は3664gでした。都道府県庁所在市・政令指定都市中第1位となっています。（表1）
※コーヒーは粒、顆粒、粉末、固形のものでありコーヒー飲料は含みません。

次に、外食における喫茶代（コーヒー以外も含む）に係る家計支出をみると、2017年～2019年平均で京都市の一世帯当たり（二人以上の世帯）の喫茶代の年間支出金額は7175円と全国平均以上で、都道府県庁所在市・政令指定都市中第13位となっています。（図1）

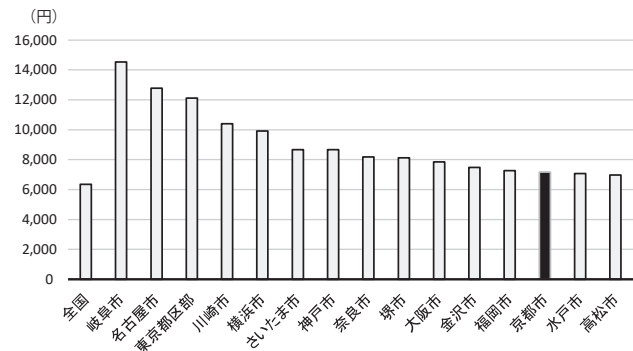
また、人口・世帯当たりの喫茶店数の割合について、平成27年国勢調査の人口1万人当たりや世帯人数（2人以上）千世帯当たりで全国と比較すると、共に約1.6倍と高い割合となっています。（表2）

表1 1世帯当たりの家庭内でのコーヒーの消費（二人以上の世帯）（2017年～2019年平均）

順位	年間支出金額（円）		年間購入数量（g）	
1位	京都市	8,555	京都市	3,664
2位	水戸市	7,929	鳥取市	3,250
3位	大津市	7,711	広島市	3,128
4位	鳥取市	7,632	金沢市	3,045
5位	広島市	7,392	水戸市	3,013
	全国	6,295	全国	2,473

出典：家計調査（総務省）

図1 外食における喫茶代に係る家計支出（二人以上の世帯）（2017年～2019年平均）



出典：家計調査（総務省）

表2 人口・世帯当たりの喫茶店数等の割合

区 分		全国	京都府	全国を1とした場合の京都府の倍率
飲食店数	人口1万人当たり	46.5	49.7	1.1
	千世帯当たり（総数）	11.1	11.3	1.0
	千世帯当たり（世帯人員が2人以上）	16.9	18.2	1.1
喫茶店数	人口1万人当たり	5.3	8.6	1.6
	千世帯当たり（総数）	1.3	1.9	1.5
	千世帯当たり（世帯人員が2人以上）	1.9	3.1	1.6

注 世帯数は一般世帯。

出典：平成28年経済センサス・活動調査（総務省・経済産業省）
平成27年国勢調査（総務省）